



2024 HAPPY COME!

幸せを呼ぶ正月飾り



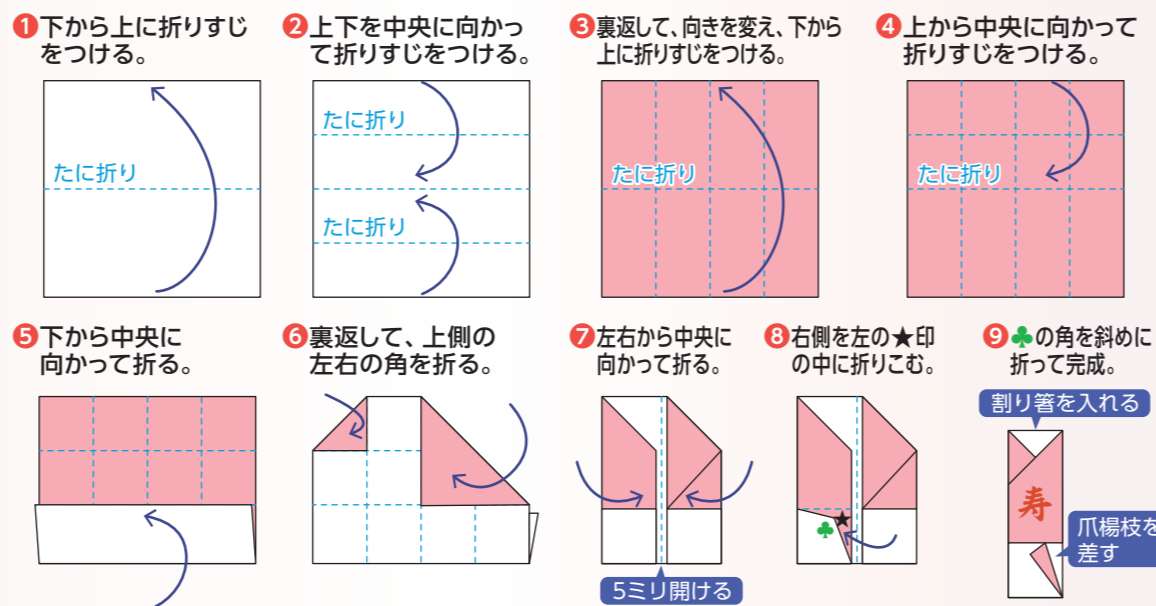
新年の祝い膳に手作りの箸袋を添えて

日本折紙協会認定の折紙講師・伊藤とも子さんは、大泉リサイクルセンター工房グループのボランティア講師でもあります。12月には「お祝いご膳箸袋とポチ袋」講座も開催します！今回は特別に伊藤さんが基本の箸袋の作り方を誌上公開。材料は、家にある折り紙や和紙などでOK！新年の祝い膳に、心のこもった箸袋を添えてみませんか。

伊藤とも子さん

講座 INFORMATION 大泉リサイクルセンター

【託児OK】お祝いご膳箸袋とポチ袋
12月9日(土)10:00～11:30



無病息災、五穀豊穡、家内安全…

ご利益をもたらす年神様をお迎えするために

お正月は新しい一年の始まりを祝う日であり、家々にその年の幸せをもたらすために山から降りてくる年神様をお迎えする日でもあります。古来、全国各地で年神様をお迎えするためのさまざまな風習や行事が生まれました。そのひとつが正月飾りです。たとえば、「門松」は年神様に家を見つけてもらうための玄関先の目印、「しめ縄」は年神様を迎え入れる神聖な場所であることを示す意味があり、神聖な食べ物とされるお餅を二段重ねた「鏡餅」は年神様へのお供物です。正月飾りは、すべての人々に無病息災、五穀豊穡、家内安全などのご利益をもたらしてくれる年神様への感謝の気持ちを込めた特別な飾りものなのです。

自然の材料や古布、廃材などを活用

めくもりにあふれた手作りの正月飾りで幸福祈願

そんな正月飾りも、時代の流れとともに、住まいやインテリア、暮らし方に合わせて、洋風に、コンパクトに変化しています。ただ、ライフスタイルがどんなに変化しても、変わらないのは新年を迎えるおごそかな気持ち。時代に合わせた正月飾りで、年神様を迎え入れる準備をしたいものです。この日本の伝統文化を絶やさないために、練馬区立リサイクルセンターでも、大人はもちろん、子どもを対象にした正月飾りの講座をご案内しています。自然の材料や古布、廃材などを活用した、現代の暮らしに合った正月飾りの数々。市販品とはひと味違う、手作りのめくもりに、きっと年神様も喜んでくださるのではないのでしょうか。

令和6年(2024年)が幸せな一年になりますように。今号では区内4カ所にある練馬区立リサイクルセンターからイチ押し正月飾り講座をご紹介します。手作りの正月飾りで大きなHAPPYを呼び込んでください！



講座 INFOMATION 皆さまにとって幸多き2024年を祈って イチ押しの正月飾り講座をご紹介します！

各講座の
申込方法等詳細は
裏面を
ご覧ください！

大泉リサイクルセンター

練馬産稲穂でお正月飾りを作ろう！

①12月11日(月)②12月12日(火) 10:00～12:00



新しい年の厄災を払うしめ縄の材料には、稲穂が使われています。稲の収穫は秋ですが、お正月にしめ縄を飾るようになったのは、新しい年も多くの食物が実り、人々が食べ物に困らないようにとの願いが込められています。講座では、講師が練馬区内の自宅で栽培した稲穂を使い、稲を育てる過程や地産地消の意義についてもお伝えします。

材料に注目！

材料となる稲は、ボランティア講師が練馬区内の自宅でモミ(苗)から栽培したものです。飾りも水引以外は、庭にある南天、杉や常緑樹の葉など自然のものを使用しています。練馬産の材料で、自然に優しい正月飾りにこだわっています。

講師のご自宅で育てた稲を材料に使うとは思っていませんでしたのでビックリ！

稲わらをなうのが難しかったですが、自作のしめ縄飾りで良いお正月が迎えられます。

春日町リサイクルセンター

つるし飾り「小梅」

12月15日(金) 10:00～12:30



「和古布で作るつるし飾り」は、楽しく針仕事の技法を習得できる講座です。また、体験を通して環境保全へ意識を向ける機会を区民の皆さまに提供しています。講座では、春は貝橋、夏は金魚、秋はうさぎなど四季折々のモチーフでつるし飾りの講座を開催。今回は、初登場のモチーフ、縁起の良い梅でお正月を彩ります。

材料に注目！

区民の皆さまから寄せられた着物の端切れなどの和古布を大に利用して、梅の飾りを作り、打ちひもをつなげます。カラフルな梅のモチーフをひと針ひと針縫って細かな作業。ご家庭でもリメイク活動をしていただけるよう、裁縫カッパも目指します。

旬の講座。お正月らしく素敵な飾りができました。使い道がなかった和布が役に立ちました。

今までは自己流で作っていましたが、コツを教えてくださいました。ありがとうございました。

豊玉リサイクルセンター

余り布で作る七宝まり

12月14日(木) 13:00～16:00



七宝柄とは、円をずらして重ねて作った日本の伝統的な模様です。ひとつの円の4分の1に、別の円の4分の1を重ね合わせてつながる幾何学模様は、「円満・ご縁・調和」などの意味が込められた縁起のいい柄です。この柄を布で縫い合わせ、綿を詰めたくちが七宝まり。「円満・ご縁・調和」がいっまでも続くことを願うお正月の縁起物です。

材料に注目！

昔は着物をリメイクしていましたが、講座ではご家庭にある余り布や古布を使っています。和柄はもちろん、洋柄もOK！柄や色によって、さまざまな表情を醸し出す七宝まり。このまま並べても、つるし飾りにしても。

七宝柄

縁起ものなので、正月飾りだけでなく、孫のおもちゃとしても完成させたいです。

裁縫は苦手なのに参加しました。分りやすく教えていただき感謝しています！

自分が描いたイラストで工作ができたのが、とても嬉しかったです。

関町リサイクルセンター

子ども 干支の絵馬と置き物作り

12月17日(日) 10:00～12:00



昔から親しまれてきた干支飾り。その年の干支を飾ることで「家内安全・商売繁盛」、人に贈ることで「招福祈願・安寧長寿」という意味を持ちます。門松やしめ縄などの正月飾りは松の内だけのものですが、干支飾りはお礼やお守りのように、1年間飾っておくことができます。子どもたちが作った辰の干支飾りが家族の幸せを守ってくれます。

材料に注目！

絵馬は段ボール、干支飾りは和食器などの収納木箱を解体した端材。どちらも捨てられてしまう資源を材料としてリサイクルしています。好きなイラストを描いたり、貼ったり。子どもたちのユニークな発想が光る正月飾りです。

捨てられてしまう材料なのに、こんな工作ができるなんて！リサイクルの勉強にもなりました。



使用済み食用油を「資源」に！

～ごちそうさまのあとは油のリサイクル～

リサイクルセンターで回収された使用済み食用油は、インクや石鹸の原料としてリサイクルされています。ぜひ、資源回収にご協力ください。

各リサイクルセンターで 月1回収しています！

- 関町リサイクルセンター 第2土曜日 9:00～12:00
- 大泉リサイクルセンター
- 豊玉リサイクルセンター 第3土曜日 9:00～12:00
- 春日町リサイクルセンター

RECYCLE!

★油は十分に冷まし、ペットボトルに入れて、キャップをしっかり閉めて出してください。
★出せるものは植物油(サラダ油など)です。

ご存じですか？ 使用済み食用油で「空」を飛ばす？!

近年、持続可能な航空燃料(SAF)の原料として、使用済み食用油が注目されています。通常の石油を原料とするジェット燃料と比べ、約8割のCO₂削減効果があります。*日本では、2030年時点で国内の航空業者が使用する航空燃料のうち10%をSAFに置き換えることを目標としています。

*環境基本計画より

「夏季インターンシップ」を実施

環境すごろくで楽しく学ぶ講座を発表！

次世代を担う若者に現状の環境問題を認識してもらい、その問題解決に高い関心を持ってもらうために、8～9月の12日間、8名の大学生を対象に「夏季インターンシップ」を行いました。

リサイクルセンターの企画業務体験、環境関連施設の見学などを経て、大学生は「学ぼう！環境すごろく 作ろう！段ボールフォトフレーム」と題した講座を企画。最終日の9月16日(土)に、春日町リサイクルセンターのごまクラブメンバーに発表しました。「すごろくをしながら環境のことを学べて楽しかった」「家でも作りたい」と大好評。大学生にとっても、リサイクルセンターならではのスキルを学べた、充実した仕事体験になりました。

練馬区立リサイクルセンター4館合同企画講演会

●令和6年講演会のお知らせ●

心理学からみる環境問題 ～環境配慮行動とサステナビリティ～

暮らしの中で人々が環境を思い、保全のためにする行動を「環境配慮行動」といいます。このときの個人の中での意識変化は？環境に対する心理的な部分に焦点を当て、実際の行動につなげるための心の仕組みを紐解きます。

講師

武蔵野大学 工学部
サステナビリティ学科教授
村松隆雄さん



令和6年2月4日(日)
14:00～16:00
(開場:13:30)

練馬区立生涯学習
センターホール
練馬区豊玉北6-8-1
アクセスはこちら

参加費
無料



申込方法

お問い合わせ：練馬区立春日町リサイクルセンター
☎03-3926-2501

会場受講▶ 定員150名(HP/往復はがき:抽選)

①催し名 ②参加者全員の氏名(フリガナ) ③住所
④年齢 ⑤連絡先(電話番号等)をお知らせください。

HPの場合

練馬区立リサイクルセンター
お申し込みはこちら▶



往復はがきの場合

〒179-0074 練馬区春日町2-14-16
練馬区立春日町リサイクルセンター

オンライン受講▶ 定員100名(HP:先着順)

上記HPで詳細を確認のうえ申し込みください。

申込受付期間

令和5年11月21日(火)～令和6年1月16日(火)
※往復はがきの場合は必着。
※手話通訳を希望する方は、令和6年1月9日(火)までに
お知らせください。

●前回の講演会ダイジェスト●

環境先進国スウェーデンの サステナブルで幸せな暮らし

スウェーデンは、サステナブル(持続可能)な環境循環型社会のお手本です。環境循環には人間界と自然界、ふたつの循環があります。ひとつは皆さんご存じの3R。ごみを減らして(Reduce/リデュース)、繰り返し使って(Reuse/リユース)、最後は資源として再利用する(Recycle/リサイクル)ことで、人間が技術を使って回すのでデュニカルサイクルと呼ばれます。もうひとつは、その外側にある自然界、動物や植物の命が回ってくるバイオサイクル。ポイントは、デュニカルサイクルは、資源として使った自然が回復するまでの時間を稼ぐために行っている点です。課題に向き合うことが得意なスウェーデンの人々は、資源の分別を徹底し、再生エネルギーや農産物を使わない農産物を選ぶことで、サステナブルな暮らしを実現しています。



イクベリ聡子さん
株式会社フロンティア・カフェ
代表取締役社長

